



スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド
愛称: ベスト・アルファ

マンスリーレポート
基準日 2021年4月30日

【運用実績】

過去のパフォーマンス(%)	直近の分配実績(円)	
	ファンド	TOPIX配当込
過去1ヵ月間	1.49	-2.84
過去3ヵ月間	3.73	5.91
過去6ヵ月間	9.07	21.48
過去1年間	22.66	32.34
過去3年間	21.95	14.61
設定来	186.44	144.00
		設定来累計
		1,300

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

【ロング・ショート別構成】

	比率(%)	銘柄数
ロング	60.2	31
ショート	-30.6	42
ネット	29.6	-
グロス	90.8	-

※ 比率は対純資産総額
※ ネットはロングとショートの差引、グロスはロングとショートの合計です。

【市場別構成(ロング)】

市場	比率(%)
東証1部	44.4
東証2部	0.0
東証マザーズ	12.8
ジャスダック	3.0
その他市場	0.0

※比率は対純資産総額

【業種別構成(ロング)】

業種	比率(%)
サービス業	10.2
情報・通信業	9.3
機械	8.1
電気機器	7.1
金属製品	4.3
その他	21.2

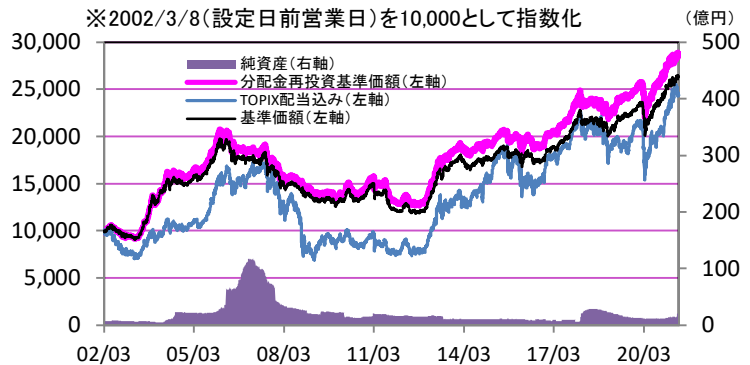
※比率は対純資産総額

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
26,285 円	26,207 円	20.54 億円

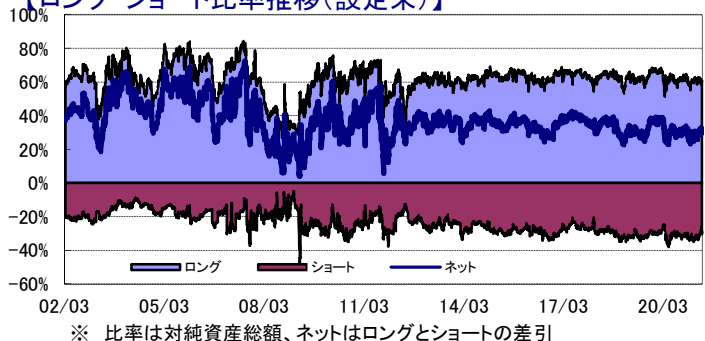
ハイ・ウォーター・マーク 25,558 円

※ 基準価額がハイ・ウォーター・マークを超えると実績報酬が発生します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
※ 当該ハイ・ウォーター・マークは、当ファンドの毎計算期間末(毎年3月10日、休日の場合は翌営業日)および毎計算期間の最初の6ヵ月終了日に更新される場合があります。詳しくは委託会社にお問い合わせください。



※基準価額は信託報酬・実績報酬等控除後です。
※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。
※当ファンドはTOPIX(配当込み)をベンチマークとするものではありません。
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【ロング・ショート比率推移(設定来)】



※ 比率は対純資産総額、ネットはロングとショートの差引

【組入有望証券上位10銘柄(ロング)】

	銘柄	業種	比率(%)
1	SUMCO	金属製品	4.3
2	ギフト	小売業	4.1
3	DMG森精機	機械	3.6
4	UTグループ	サービス業	3.4
5	Fast Fitness Japan	サービス業	3.4
6	SMC	機械	3.4
7	ペプチドリーム	医薬品	3.2
8	日揮ホールディングス	建設業	3.1
9	アンビスホールディングス	サービス業	3.0
10	村田製作所	電気機器	2.9

※比率は対純資産総額

※ 上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

※ 「比率(%)」は、当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等については当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド
愛称:ベスト・アルファマンスリーレポート
基準日 2021年4月30日

ファンド・マネージャーのコメント

【市況状況】

2021年4月、日本株式市場の代表指数であるTOPIX（配当込み）は前月末比2.84%の下落となりました。

当月の日本株式市場は、米国の雇用統計の改善とバイデン米大統領による500億ドル規模（約5兆4,000億円規模）の半導体生産支援策などを受けて、小幅な上昇から始まりました。

月半ばは、国内の新型コロナウイルスの新規感染者数の増加を受けて再び緊急事態宣言が発令されるとの見通しから、一旦リスクオフの展開となりました。

月後半には、米国長期金利の上昇などから割安株（バリュー株）の上昇局面もありましたが、好業績を期待されながらも保守的な業績予想により株価が軟調となる企業も多く、全体としては下落基調の中で月を終えました。

【運用状況】

4月の当ファンドは、Fast Fitness Japan、SUMCOなどが上昇し、パフォーマンスに対してプラスに貢献しました。

Fast Fitness Japanは、4都府県で緊急事態宣言が発令され多くのスポーツクラブ施設が休業する中で、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ営業を継続できる事業特性が評価され、株価が上昇しました。SUMCOは、電子機器、自動車業界から半導体ウエハの需要が中長期的に旺盛であることを背景に、同社が新工場の建設を検討していると新聞報道されたことを好感して、株価が上昇しました。

一方、日揮ホールディングス、ペプチドリームなどが下落し、パフォーマンスに対してマイナスに影響しました。

日揮ホールディングスは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で再び経済活動が停滞することによる原油需要の減少懸念から、株価が下落しました。ペプチドリームは、株式市場で景気回復期待が高まる中、ディフェンシブ性の高い医薬品・バイオセクターは物色対象とはならず、株価が下落しました。

投資ウェイトに関しては、新型コロナウイルスの感染拡大による混乱から1年が経過し、企業本来の強さ・弱さが表に現れやすい状況となってきたことから、当ファンドが中心的な値と考えるネットポジション30%程度を維持しつつ、投資先の個別企業に対する選別に重点を置く方針です。

【運用方針】

2021年3月期の決算発表が本格化してきました。みずほ証券の4月30日時点の集計によると東証一部全企業の2022年3月期の經常利益予想は前年比+70.6%と大きな利益成長が見込まれています。

これまでの株価上昇が利益成長予想を先取りして織り込んできた企業の業績回復が、ようやく顕在化してきたものと見ています。単なる「コロナ禍」からの反動による利益回復ではなく、企業独自の要因で中長期にわたる利益成長が可能かどうかを冷静に判断して、ロング、ショートそれぞれの投資機会に反映していく方針です。

当月は、新規投資した「ウイングアーク1st」についてご紹介します。

同社は、3月16日に東証第一部に上場した帳票・文書管理ツールとBI(Business Intelligence)ツールなどを手掛けるソフトウェア会社です。

帳票・文書管理ツールは、20年以上の実績があり市販化されているソフトウェアとしては国内トップクラスとして同社の収益の土台になっています。

BIツールとは、各企業に蓄積されたビッグデータの集計・分析・加工を迅速に行い、経営の意思決定をサポートするソフトウェアです。DX(デジタルトランスフォーメーション)の流れを追い風に高い成長が期待される領域です。

当ファンドは、緩やかな成長が見込める一方で株価バリュエーションが非常に割安であったことに着目して、同社に投資しました。

緩やかな成長を見込む理由は、同社の売上の過半は保守などの継続収入であり、その上でDXの恩恵を受けて契約社数の増加を予想するためです。株価バリュエーションが割安である背景は、足元の成長が鈍化しているように見えるためと考えています。成長が鈍化して見えるのは、新規契約の形態を従前のライセンス販売(売上一括計上)からクラウド提供(初期売上のない継続課金)へシフトしているためです。短期的な成長率の鈍化は免れませんが、長期的には既存の保守契約の上にクラウドサービスの売上が継続収入として積み上がるため、収益基盤の一層の強化が期待されます。ビジネス拡大による収益成長と、顧客ベースの拡大を反映した株価水準の切り上がりも期待して投資を行っています。

ショート投資では、戸建て住宅を開発販売する企業A社に対して新たにショート投資しました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う在宅時間の増加を機に戸建て住宅に対する需要が一気に顕在化したことで株価が高く評価されていますが、需要の先食いによる業績成長率の低下、主要な材料である木材価格の上昇が収益を圧迫するリスク、販売価格に転嫁された場合には需要を減退させるリスクを考慮して、現在の株価は割高であると判断しました。今後は、収益性の低下と業績の悪化によって株価が下落すると、当ファンドは考えています。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。